

令和 5 年 度 事業 報 告

社会福祉法人あまくさ福社会

○地域生活支援センターグリーン

- ・ 指定特定相談支援事業
- ・ 生計困難者レスキュー事業
- ・ 自立訓練(生活訓練)事業
- ・ 生活介護事業（共生型通所介護）

○就労サポートセンターぴ～す

- ・ 就労継続支援B型事業

○グリーントポス

- ・ 介護サービス包括型共同生活援助

令和5年度 指定特定相談支援事業報告

【1】概況

令和5年度は、地域社会における福祉サービスの提供をさらに充実させるため、多様な支援の展開に注力しました。まず、相談支援の利用件数は前年と比較して横ばいでしたが、地域住民のニーズに的確に応えることができたと自負しています。特に、福祉サービスの利用に関する悩みや社会資源に関する支援を中心に、個別支援計画の策定とその後のフォローアップを徹底し、利用者の生活の質の向上に大きく寄与しました。また、専門性の向上を目的とした研修への積極的な参加により、スキルアップが図られ、より専門的で効果的な支援を提供できるようになりました。さらに、地域の関係機関や他の福祉サービス提供事業者との連携を深めるためのネットワーク構築にも注力しました。地域障がい相談支援センターや地域包括支援センター、医療機関との連携を強化するため、担当者会議を開催し、情報共有やケース検討を通じて、包括的な支援体制を整備しました。IGTの活用においては、対面及びオンラインでの相談支援を実施し、特にオンライン相談の導入により、遠隔地の医療従事者や当事者、関係機関への会議招集を促し、参加が困難な方々にも支援協力を求めることが可能となりました。今後も、地域のニーズを的確に把握し、柔軟かつ迅速に対応できる支援体制の強化を進め、全ての利用者様が安心して暮らせる社会の実現に向けて努力してまいります。

【2】相談支援・障害種別利用者契約状況

(1) 計画相談 月別実施状況

※相談件数についてはのべ人数

令和5年度月別利用者状況	月	計画作成件数	モニタリング件数	※相談件数
	4月	4	13	96
	5月	6	13	91
	6月	8	13	51
	7月	7	14	98
	8月	7	10	101
	9月	3	16	78
	10月	5	14	95
	11月	6	16	94
	12月	4	17	87
	1月	3	13	94
	2月	3	14	82
	3月	6	16	96
	合計	62	169	1,063

(2) 支援内容内訳

※相談件数の内訳

支援内容	件数	支援内容	件数
福祉サービスの利用に関する支援	175	家計・経済に関する支援	51
社会資源の活用に関する支援	118	生活技術に関する支援	6
障がいや病状の理解に関する支援	98	就労に関する支援	77
健康・医療に関する支援	95	社会参加に関する支援	32
不安の解消・情緒安定に関する支援	132	余暇活動に関する支援	11
保育・教育に関する支援	12	権利擁護に関する支援	5
家族関係・人間関係に関する支援	206	その他福祉に関する支援	0
		合計	1,018

(3) 障害別利用契約者数の前年対比

令和4年度 利用契約者数			
身体障がい者	5名	難病対象者	2名
知的障がい者	14名	(男性利用者)	46名
発達障がい者	5名	(女性利用者)	31名
精神障がい者	57名	合計利用者	77名

※合併症含む

令和5年度 利用契約者数			
身体障がい者	5名	難病対象者	2名
知的障がい者	15名	(男性利用者)	37名
発達障がい者	7名	(女性利用者)	32名
精神障がい者	58名	合計利用者	69名

令和4年度 サービス種別数			
居宅介護	17名	同行援護	1名
生活介護	17名	自立訓練	7名
通所介護	0名	就労継続支援B型	38名
共同生活援助	13名	就労移行	1名

※重複サービス利用あり

令和5年度 サービス種別数			
居宅介護	15名	同行援護	1名
生活介護	17名	自立訓練	5名
通所介護	0名	就労継続支援B型	34名
共同生活援助	14名	就労移行	3名

【3】事業取り組み

- ・困難な事例については、地域障がい相談支援センターと連携し、ケース評価会議を通じて、それぞれのケースを振り返り、最適な支援の方法を検討しました。
- ・計画相談に留まらず、社会資源や天草市の課題にも目を向け、サービス等利用計画に記載される内容以上の生活全般にわたる相談にも積極的に対応する相談窓口を設けました。
- ・個々のニーズに応じ、法改正の内容を理解し、制度に沿った支援を徹底しました。
- ・自立支援協議会の会議に参加することで、他の班との連携を強化し、地域の多様なニーズに対応できるサービス体制の確立と、地域の社会資源との連携体制を構築しました。

【4】課題・次年度への提起

- 本人中心の支援の徹底：**利用者の意向とニーズを尊重し、個々の心身の状況や環境に応じたサービス計画を策定することで、利用者が自立した生活を送れるよう支援します。
- 相談支援スキルの向上：**定期的な研修と情報共有を通じて、相談支援専門人の専門性を高め、質の高いサービス提供を目指します。
- 連 携 強 化：**関係機関との連携を深め、顔の見える関係性づくりを進めることで、利用者に対する一貫した支援を提供します。
- 利用者権利の擁護：**虐待防止と身体拘束の禁止に関する委員会の活動を通じて、人権を守り意思決定支援に関する研修を行います。
- 緊急時の支援体制の確立：**災害や感染症発生時に迅速に対応できるよう、具体的な対策と準備を行い利用者の生活の場の確保に努めます。

令和5年度 生計困難者レスキュー事業報告

【1】事業の趣旨・目的

私たち、社会福祉法人は、公益活動を具体的に実践することを目指しています。その一環として、地域で支援を必要とする方々への相談活動を強化し、関係機関と協力して、しっかりとした支援体制を築いています。さらに、経済的に困難な状況にある方々の心理的な不安を和らげるため、必要な制度やサービスへのアクセスを容易にし、生活必需品や社会的サービスを現物支給することで、具体的な援助を提供しています。

【2】事業の特徴

- 【1】 各施設にコミュニティソーシャルワーカー(CSW)を配置し、地域に根ざした事業を展開しています。
- 【2】 県や市の福祉事務所をはじめとする公的機関、市町村社会福祉協議会、民児協などと連携し、重層的な支援体制の構築を目指しています。
- 【3】 すべての方々への支援を提供しています。
- 【4】 総合相談窓口を設け、生計困難者が抱える生活課題に対応し、適切なサービスを提供しています。
- 【5】 経済的援助が必要な場合は現金給付ではなく、担当CSWが同行しての現物給付を行っています。

【3】レスキュー事業の実施状況

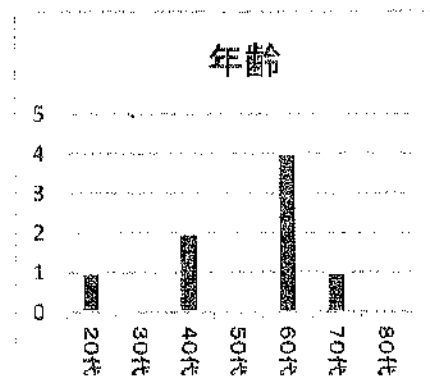
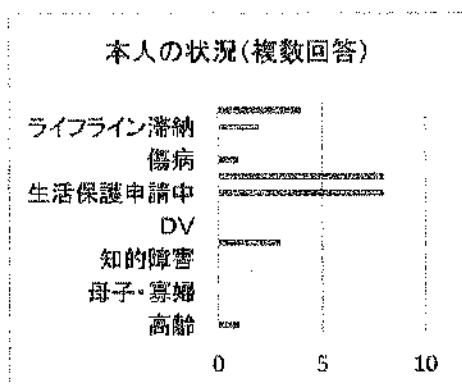
※令和6年3月31日現在

(1) 支援実施状況

1) 支援受付報告書提出	8	件	
2) 支援終了記録提出	8	件	
3) 基金支払請求	8	件	
4) 支援継続中	0	件	計 209,624 円

(2) 支援ケースの状況

月別相談 受付件数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
	1	0	0	1	0	0	2	1	3	0	0	0	8 件



対象者 男女別	男性	女性	合計
	7	1	8 件

世帯状況	独居	夫婦	母子	親子
	5	3	0	0

対象者 平均年齢	平均 支援期間	平均 訪問回数	平均 同行回数	基金 支払総額	平均 基金支払額
55.63	10.25	3.13	2.8	¥209,624	¥26,203

【4】相談者の現状

1. 本人の状況（複数回答）：

- ・失業(8件)および生活保護申請中(8件)の相談が最も多く、経済的な困窮が深刻な状況にあることがわかります。
- ・精神障がい(4件)、多重債務(3件)、およびホームレス(3件)の問題も顕著であり、生活の安定が脅かされていることが浮き彫りになっています。
- ・ライフライン滞納(2件)や高齢(2件)など、その他の困難も見られますが、特に目立つのは失業と生活保護申請中の相談です。

2. 年齢層：

相談者の年齢層では、60代(4件)が最も多く、次いで40代(2件)、20代、50代、および70代(各1件)が続いています。この分布から、特に中高年層において経済的困難が顕著であることが示されています。

【5】今年度の課題と今後の取り組み

1. 雇用支援の強化：
2. 生活保護の迅速な対応：
3. 精神障がい者への支援：
4. 中高年層への特化した支援：
5. 多重債務・ライフライン滞納への対応：

【6】まとめ

令和5年度の生計困難者レスキュー事業では、失業や生活保護申請中の相談が多く、特に中高年層の経済的困窮が深刻な課題として浮上しました。今後は、ハローワークや就業・生活支援センター等と協力し就労支援の強化を実施していきます。また、天草市役所との協働において生活保護申請の迅速な対応を図り、精神障がい者への支援、中高年層への特化した支援、多重債務への対応が必要です。地域社会全体で連携し、相談者一人ひとりに寄り添った支援を提供していくことが求められるため、関係機関を巻き込み環境整備に努めていきたいと思います。

自立訓練（生活訓練）事業 事業報告

【1】施設名

地域生活支援センターグリーン

【2】目的

知的障害または精神障害のある方に対して、障害者支援施設、障害福祉サービス事業所または障害のある方の居宅において、入浴、排せつ、食事等に関する自立した日常生活を営むために必要な訓練、生活等に関する相談および助言などの支援を目的とする。

【3】利用定員

6名（令和6年3月31日時 登録5名）

【4】職員配置

職名	職員配置	
	専任	兼務
管理者		1名
サービス管理責任者		1名
生活支援員	1名	
生活支援員（訪問兼務）	1名	

【5】利用期間

原則2年間（1年延長可）

【6】事業内容

（1）個別支援計画

- ① 本人の意向に沿った計画を個別に立てて実施する。
- ② 個別支援計画に策定時には必ずサービス管理責任者を中心にサービス提供職員と担当者会議を開催し支援の方向性を共有する。
- ③ 一か月に一回モニタリングを行い個別支援計画が適正に遂行されているかを確認する。

（2）訓練プログラム

プログラム内容	回数	主な活動内容
健康管理	86 回	スポーツ全般、バイタル測定
コミュニケーション	47 回	コミュニケーションゲーム、座談会、カラオケ等
調理・栄養管理	25 回	料理教室、栄養講座等
金銭管理	12 回	金銭出納帳の確認、次月の予算立て
社会資源活用	51 回	公共機関の利用、福祉サービスの利用について
就労支援	43 回	ファーマリング、施設見学、就労体験、クリーン活動
文化・芸術	97 回	創作活動、書道、映画・音楽鑑賞
自主活動	30 回	趣味活動
生活支援	54 回	生活ゼミ（衛生や日常生活）
個別支援	83 回	予定確認、振り返り、金銭計画、相談等
その他の行事・活動	23 回	グリーンフェスタ、スポーツ交流会等
合 計	551 回	

【7】稼働率

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用回数	63	65	62	88	71	74	103	97	96	89	74	77
稼働日数	22	23	22	23	23	22	23	22	23	23	21	23
稼働率	47.7%	47.1%	47.0%	63.8%	51.4%	56.1%	74.6%	73.5%	69.6%	64.5%	58.7%	55.8%



【8】令和5年度の振り返り

令和5年度の目標稼働率は60%に設定していたが、目標達成できなかった。新規利用者が増えなかったことや、安定した通所ができなかった利用者がいたことが原因として考えられる。この反省を踏まえて、通所するために必要な対応を関係者と検討していき実践していく必要があると感じた。また、今年度はバス乗車体験を初めて実施した。自家用車のない方にとっては地域で生活を送る為にバスは重要な移動手段ではあるが、利用者のほとんどがバスへの乗車経験が少ない、もしくは全くないといった状況であった。この体験をきっかけに、さらに経験を重ねて1人でバスに乗って通院ができるようになった方も出てきた。来年度も今回のように地域で生活していくために必要な力を自立訓練で身に付けていけるよう、どのようなプログラムを実施すればよいか慎重に検討しながら、実践に移していきたい。

生活介護・通所介護事業 事業報告

【1】サービス内容

常に介護を必要とする方に対して、主に昼間において、入浴・排せつ・食事等の介護、調理・洗濯・掃除等の家事、生活等に関する相談・助言その他の必要な日常生活上の支援、創作的活動・生産活動の機会の提供のほか、身体機能や生活能力の向上のために必要な援助を行います。

【2】対象者

生活介護(障がい福祉サービス事業)

○地域や入所施設において、安定した生活を営むため、常時介護等の支援が必要な方で次に該当する方。

- (1) 障害支援区分が区分3(障害者支援施設等に入所する場合は区分4)以上の方
- (2) 年齢が50歳以上の場合は、障害支援区分が区分2(障害者支援施設等に入所する場合は区分3)以上の方
- (3) 生活介護と施設入所支援との利用の組合わせを希望する者であって、障害支援区分が区分4(50歳以上の者は区分3)より低い方で、指定特定相談支援事業者によるサービス等利用計画案を作成する手続きを経た上で、市町村により利用の組合わせの必要性が認められた方

老人デイサービス(介護保険事業)

要介護認定を受けている65歳以上の方。

65歳以上の第一号被保険者と、40歳以上65歳未満の方で疾病(特定疾病)が原因で要介護認定を受けた第二号被保険者の方

○要介護1～5 ○要支援1～2

【3】施設概要

施設名称 地域生活支援センターグリーン
所在地 天草市佐伊津町401番5
定員 20名(令和5年3月31日時 登録19名)
管理者 長山 直仁

【4】運営方針

1. 利用者が自立した生活、又は社会生活を営むことができるよう、入浴、排泄及び食事の介護・創作活動の機会の提供・日常生活能力の維持、向上のための支援を行います。
2. 事業所の実施にあたっては地域との結びつきを重視し、市町村・他の福祉サービス等と密接な連携を図るよう努めます。

【5】事業目標

- ① 職員が一丸となり、達成感や自信を引き出せるよう支援を行う。
- ② 温かい心のこもった関わり、介護ができるように努める。
- ③ 利用者が安心して通所できるよう、常に安全で明るく清潔な環境を作り、職員と利用者が信頼し合える家庭的な環境づくりに努める。
- ④ 施設内での勉強会や各種研修等に参加し、知識、技術の向上に努め、自信と信頼をもちまた、統一した支援・質の高い支援ができるように努める。
- ⑤ 趣味やレクリエーション、創作活動等を通して日中活動の充実を図り、自分のもてる持てる強みが発揮できるように努める。
- ⑥ 利用者一人ひとりの生活・障がいの状態をよく理解した上で、利用者本人が自己決定できるよう利用者中心の支援を行う。
- ⑦ 日々の生活の中で利用者の話を聞くことで、利用者の思いを理解する。

【6】活動内容

(1) 日中活動

活動内容	主な活動内容
健康管理	体重測定、散歩等、いきいき体操、ベダル漕ぎ運動
創作活動	花、野菜作り、干し柿作り、壁飾り作り、貼り絵、ぬり絵等
趣味活動	園芸、山菜採り、書道、散歩、編み物、グランドゴルフ、卓球
社会資源活用	ショッピング、ドライブ
調理	料理教室(お弁当作り)、おやつ作り(誕生日会)
レクリエーション	ドライブ、カラオケ、茶話会、季節行事
個別支援	薬組み、予定確認、金銭計画、常時相談等
その他の行事・活動	グリーンフェスタ

(2)年間行事報告

4月	お花見ドライブ	月例行事
5月	ミニ運動会	・誕生日会(随時)
6月	芋植え、菖蒲祭り	・DVD鑑賞会(随時)
7月	七夕会	・カラオケ(随時)
8月	スイカ割り	・外出行事(随時)
9月	グリーンフェスタ	健康のつどい(11月)
10月	社会見学ツアー	ゆうすい祭・北斗会(11月)
11月	芋ほり、陶器市	ハートウィーク(12月)
12月	クリスマス会、大掃除、忘年茶話会、干し柿づくり	・お菓子作り(随時)
1月	初詣、鏡開き、焼き芋、書初め	・園芸(随時)
2月	節分(豆まき・恵方巻)、女性利用者お菓子作り(バレンタインデー)	・図書館(随時)
3月	アルバム作り、男性利用者お菓子作り(ホワイトデー)	・グランドゴルフ、卓球(随時)

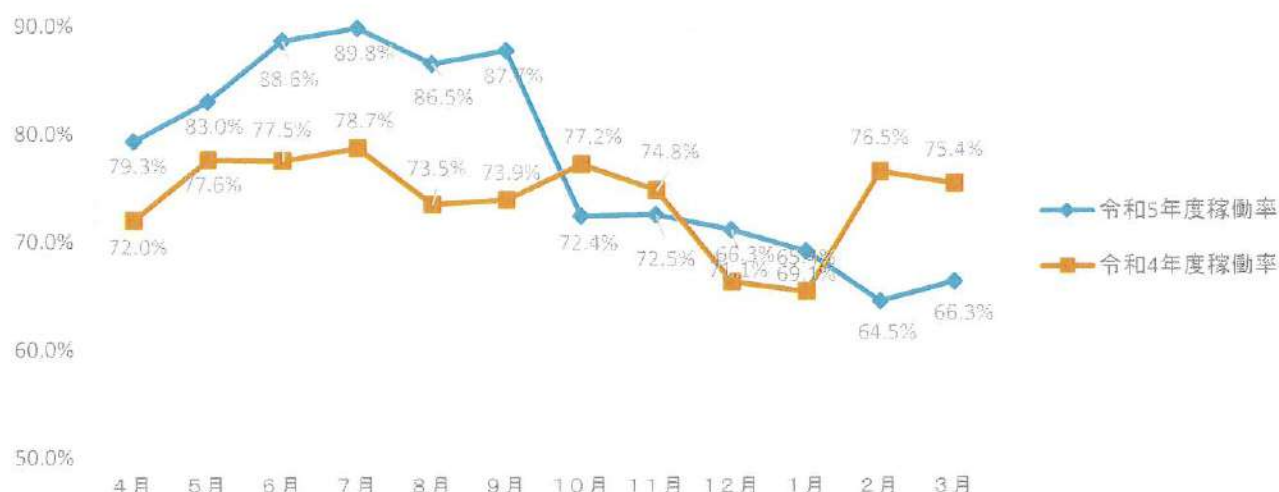
【7】利用者情報

年齢 性別	21歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～69歳	70歳～79歳	80歳～89歳
男性	2 名	0 名	2 名	3 名	4 名	1 名	1 名
女性	0 名	0 名	0 名	2 名	7 名	0 名	1 名

【8】稼働率

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用回数	349	382	390	413	398	386	333	319	327	318	271	305
稼働日数	22	23	22	23	23	22	23	22	23	23	20	23
稼働率	79.3%	83.0%	88.6%	89.8%	86.5%	87.7%	72.4%	72.5%	71.1%	69.1%	64.5%	66.3%
登録者数	24	24	22	23	23	24	22	20	20	21	19	19

登録者数内訳												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
生活介護	18	18	16	17	17	18	17	16	16	17	15	15
通所介護	6	6	6	6	6	6	5	4	4	4	4	4



令和5年度の振り返り

今年度はコロナ感染症も落ち着きがみられ、予定されていた年中行事のドライブ、社会見学ツアー、他事業所・市の行事に参加し、外出に力を入れる事が出来た。地域への社会参加に取り組む事で、利用者の気分転換だけでなく、生きる喜びや活力に繋がり、自立促進を促す為の支援が出来たのではないかと考える。発達障害の方も利用する事となり、生活介護全体の雰囲気が大きく変わる事となった、利用者同士の関わりが上手くいくのか職員も不安に感じていたが、同じ空間を過ごすうちに次第に環境に慣れ、互いを認め合う関係性を築く事が出来たように思う。発達障害の支援の中で、トラブルが起発生すると、適応能力を身に付けてきていない分、気持ちを立て直すのに時間がかかり、元の生活に戻す事が難しかった。他事業所との連携も必須で支援する難しさを身に染みて感じた。また、働きたいと希望する利用者もあり、就労への支援も必要であった。生活介護で過ごす事が終わりではなく、次のステップへ繋げる支援も大切であり、介護や支援の内容も多岐に渡るようになったと感じる。生活介護は共生型を取っており、年齢層も幅広い、行事の内容次第では一緒に活動が難しい場面もあるが、出来ないと考えるのではなく、共に何かを作り上げて行けるような方向性に切り替え、内容を見直しながら支援の幅を広げていければと考える。

令和5年度の稼働率をみると、年間を通して64.5～89.8%であった。身体機能の低下で利用する事が困難になった方、就労希望で変更になった方、体調を崩し入院を余儀なくされた方、理由は様々ではあるが、登録者数も24名から19名と減少する形となった。今後も稼働率の変動はあると思われるが、利用者が安心して通うことができ、自立する力を育みながら、楽しみや生きがいを持てるような支援を続けていきたい。

就労継続支援B型

【1】施設の名称

就労サポートセンターぴ〜す(平成25年5月1日開設)

【2】目的

障がいのある方が作業の対価である工賃をもらいながら、自立した日常生活または社会生活を営むために、特性や体調に合わせて、一人一人に合った作業内容で安心して働くことが出来るよう、様々な就労の場を提供し、継続・安定して就労ができるよう支援します。

【3】利用対象となられる障がい者の方

就労移行支援事業等を利用したが一般企業等に結びつかない方や、一定年齢に達している方などであって、就労機会等を通じ、生産活動にかかる知識及び能力の向上や維持が期待される方

- ① 企業等や就労継続支援事業(A型)での就労経験があるものであって、年齢や体力の面で雇用される事が困難となった者
- ② 50歳に達している者または障害基礎年金1級受給者
- ③ ①及び②に該当しない者であって、就労移行支援事業者によるアセスメントにより就労面に係る課題等の把握が行われている者

【4】作業内容

(施設内)

- ・ハンドメイド商品の製造・販売
- ・ちゃんぽん・ラーメン委託梱包作業(有限会社 アツカコミュニケーションズ)
- ・ひじき・青のり委託梱包作業(合同会社シーベジタブル)

(施設外)

- ・合同会社シーベジタブル(海苔の陸上養殖に付随する作業等)
- ・天草地域福祉施設製品販売促進における複合施設こころす喫茶ブースでの販売
- ・ワイズデポ(家具解体作業)

【5】利用定員

定員30名(令和6年3月31日時、登録30名)

【6】利用期間その他

利用期間の定めなし

【7】販売会

期 日	販 売 会 名 称	販 売 場 所
令和5年4月20日	天草市役所販売会	天草市役所
令和5年5月19日	天草市役所販売会	天草市役所
令和5年6月3日、4日	花しょうぶ祭り	西ノ久保公園
令和5年6月20日	天草市役所販売会	天草市役所
令和5年7月20日	天草市役所販売会	天草市役所
令和5年8月18日	天草市役所販売会	天草市役所
令和5年9月20日	天草市役所販売会	天草市役所
令和5年10月20日	天草市役所販売会	天草市役所
令和5年11月11日	健康のつどい	天草市複合施設こころす
令和5年11月21日	天草市役所販売会	天草市役所
令和5年12月8日～10日	ふれあいハートウィークくまもと2023	天草市複合施設こころす
令和5年12月20日	天草市役所販売会	天草市役所
令和6年1月19日	天草市役所販売会	天草市役所
令和6年2月20日	天草市役所販売会	天草市役所

【8】 稼働率

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均 稼働率
利用回数(R4)	609	615	595	615	611	582	610	591	608	592	524	608	
利用回数(R5)	623	640	621	650	620	611	661	615	651	625	608	662	
稼働率(R4)	92.3%	89.1%	90.2%	89.1%	88.6%	88.2%	88.4%	89.5%	88.1%	85.8%	87.3%	88.1%	88.7%
稼働率(R5)	94.4%	93.6%	95.2%	94.8%	90.3%	93.5%	95.8%	93.2%	94.3%	90.6%	96.5%	95.9%	94.0%

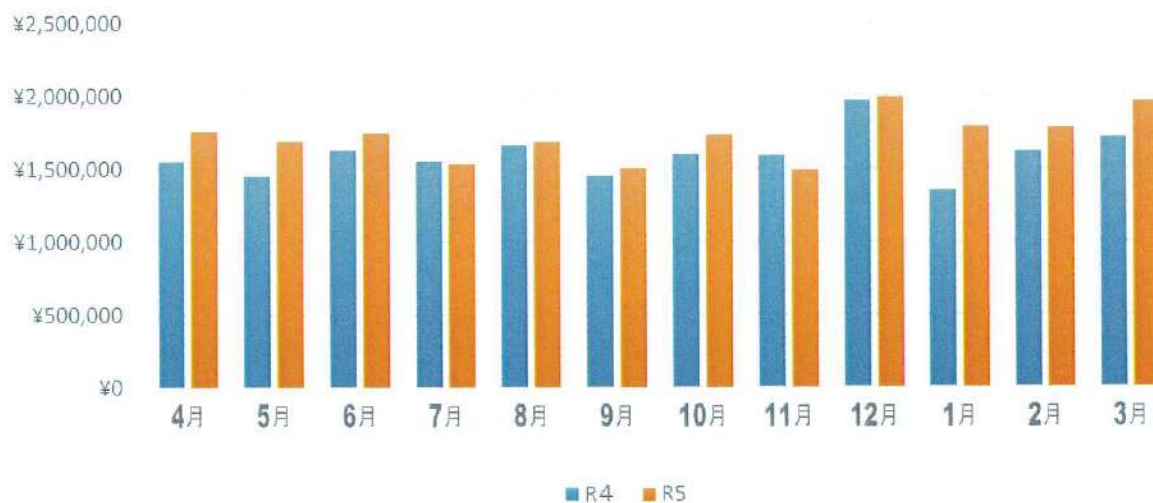
稼働率



【9】 月別収入

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間売上
R4	¥1,549,994	¥1,450,789	¥1,628,834	¥1,550,349	¥1,663,510	¥1,453,921	¥1,600,356	¥1,590,699	¥1,969,032	¥1,349,208	¥1,616,078	¥1,712,970	¥19,135,740
R5	¥1,761,077	¥1,693,177	¥1,748,651	¥1,536,893	¥1,688,443	¥1,507,600	¥1,733,933	¥1,490,233	¥1,990,412	¥1,790,404	¥1,783,464	¥1,962,366	¥20,686,653

月別収入



【10】平均工賃

	令和4年度	令和5年度	前年度比
目標工賃	26,000円	26,500円	(+500円)
実績工賃	40,129円	45,105円	(+4,976円)

最高工賃額(63,750円)

【11】R5年度の振り返り

令和5年度は年間を通じて概ね出勤状況が安定しておりましたが、利用者様の特性や様子の変化に対する認識と対応が遅れることが見られました。年間目標であるひとりひとりに向き合った支援を充実していくことにおいて十分とは言えない為、この反省を踏まえ今年度は、職員間の共有や相談をこまめに行い、自己研鑽や勉強する場へ積極的に参加し利用者様にひとりひとりに向き合い不安なく活動できるように細やかな支援を目指していききたいと思います。

施設内作業では、各種委託梱包作業を提供しており、利用者様の経験を重ねる毎に作業効率も上がり迅速な対応が出来つつあります。心身の変化により作業において集中力を欠くこともある為、職員がしっかり事前の準備と複数の職員にて最終確認を行い、今後も品質を維持しながら利用者様に不安なく安定して取り組んでいただけるように作業環境を整えていきます。

こらすの喫茶販売業務では、コーヒーの提供で人により分量に違いがありマニュアルに沿った提供をしていなかった事もあり、来店者に同じ品質で提供できるように職員が確認を行っていきます。また商品の入れ替えやディスプレイの見直しを行うことで今後もリピーターや新規顧客に繋げていきたいと思えます。

施設外就労では、養殖の委託作業を提供しており、各工程にて利用者様の特徴を活かした作業を提供しています。気候の変化による体調不良、生活リズムによる体調管理に留意し作業安定の為にはこまめに休憩の促しや作業を簡素化し負担を軽減できるか委託先と共に協議し作業環境を整えていきます。

販売会では、事前に販売ブースのレイアウトや商品の準備ができておらず、来庁者に商品のアピールが十分に出来なかった。今後は、販売会を想定して商品づくりの依頼、実演など事前の準備を行い、商品の魅力を伝えていきたい。

ふれあいハートウィークでは例年に加えくまモンかごのパーツ付け体験コーナーを設置。利用者様がレクチャーを行い、来場者と一緒にふれあう場となり、沢山のお客様に楽しんで頂くことが出来ました。

今後も、利用者様がび〜すで仕事がしたい、続けたい。頑張りたいと思ってもらえるようにひとりひとりに寄り添う支援をしていきたいと思えます。

介護サービス包括型共同生活援助事業 事業報告

【1】施設名

グリーントポス

【2】目的

指定共同生活援助の円滑な運営管理を図るとともに、利用者の意思及び人格を尊重して、常に当該利用者の立場に立った適切な指定共同生活援助の提供を確保することを目的とする。

【3】利用定員

10名（令和6年3月31日時 登録10名）令和5年度：退所者2名、新規利用者2名

【4】利用対象者

1. 一定程度の自活能力のある知的・精神障がい者の方
2. 通院医療を継続している精神障がい者の方
3. 日中に就労又は就労継続支援等のサービスを利用している知的・精神障がい者の方

【5】利用期間 定めなし

【6】事業内容

(1) 個別支援計画

- ① 本人の意向に沿った計画を個別に立て、実施する。
- ② 個別支援計画策定時には必ずサービス管理責任者を中心にサービス提供職員とカンファレンス会議を開催し支援の方向性を共有する。
- ③ 3ヶ月に1回モニタリングを行い個別支援計画が適正に行われているかを確認する。

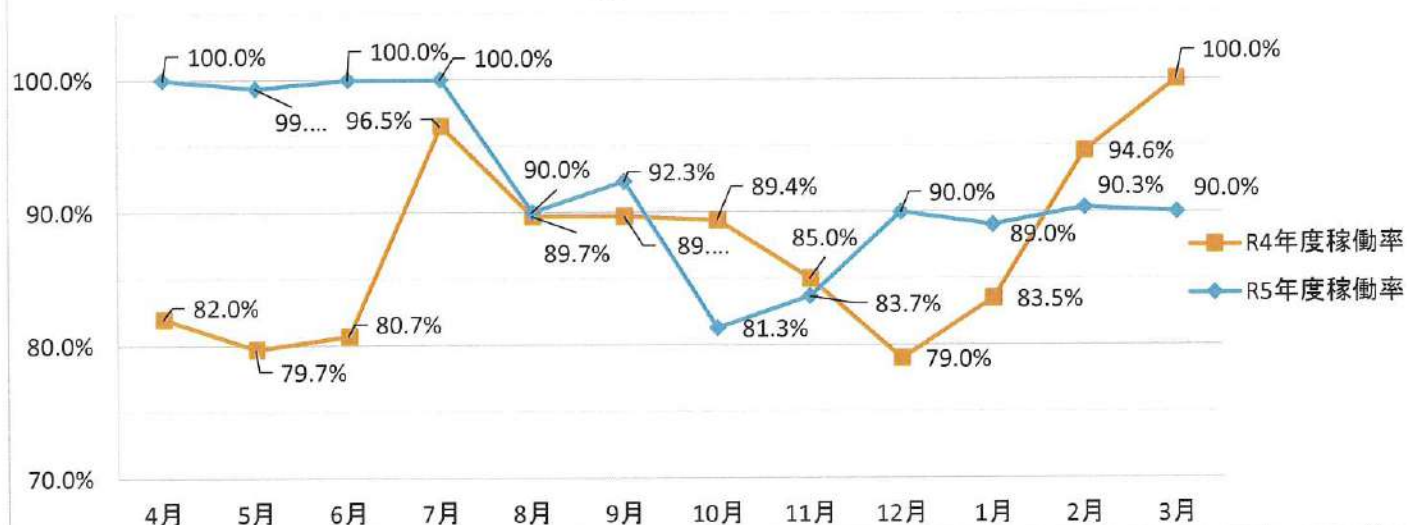
(2) 支援内容

- ① 利用者に対する相談
利用者及び利用者及びその家族が希望する生活や利用者の心身の状況等を把握し、適切な相談、助言、援助等を行います。
- ② 食事の提供
世話人が栄養と各人の嗜好を考えて、バラエティーに富んだ献立を工夫し、提供します。（食材料費及び食事に係る水道光熱費は対象外サービスです。）
- ③ 健康管理・金銭管理の援助
服薬管理（入居者又は入居者のご家族の希望により若しくは主治医の指示で服薬管理を行います。）
・事務所で預かり、服薬を行う時間に入居者の方に手渡し、服薬して頂く。
・生活費の管理方法や使途方法等について必要に応じて相談支援を行います。
- ④ 余暇活動の支援
地域商店への単独買い物等を支援し、自主性を育てるとともに、余暇活動として地域行事の情報を提供し、参加を促進します。
- ⑤ 緊急時の対応
サービス提供中に、利用者に病状の急変が生じた場合その他必要な場合は、速やかに主治の医師への連絡を行う等の必要な措置を講じるとともに、利用者が予め指定する連絡先にも連絡します。
- ⑥ 日中活動の場等との連絡・調整
日中、自立訓練事業やデイサービス等他のサービスを利用する場合、また職場に通勤する場合等に、必要に応じてサービス提供事業者や職場等と連絡・調整を行います。
- ⑦ 財産管理等の日常生活に必要な援助
食事、排泄、入浴、着替え、整容等について日常生活に必要な援助を行うとともに、財産管理に支援が必要な利用者について、成年後見制度の利用を促進するなど必要な援助を行います。
- ⑧ 夜間における支援
夜間において支援を行うものを配置し、就寝準備の確認、寝返りや排泄等の支援を行うとともに、緊急時の対応を行います。
- ⑨ 体験利用における支援
契約を希望されている方に、生活上の不安の解消等を目的として、正式な契約締結前に「体験利用」として支援を行います。
- ⑩ その他
上記に附帯するその他必要な介護、支援、家事、相談、助言を行います。

【7】稼働率

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
登録者数	10	10	10	10	9	10	9	10	9	10	10	10	
利用日数	300	308	300	310	279	277	252	251	279	276	262	279	
稼働日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	29	31	
稼働率	100.0%	99.4%	100.0%	100.0%	90.0%	92.3%	81.3%	83.7%	90.0%	89.0%	90.3%	90.0%	92.2%

稼働率グラフ



【8】入居者情報

性別	21歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～69歳	70歳～79歳	80歳～89歳
男性	0名	1名	1名	4名	1名	0名	0名
女性	0名	0名	1名	0名	1名	0名	1名

【9】日中福祉サービス利用状況

施設名称	地域生活支援センターグリーン			就労サポートセンターぴ～す		その他
事業名称	生活介護	通所介護	生活訓練	就労継続支援B型		
男性	5名	0名	0名	2名	0名	0名
女性	1名	1名	0名	1名	0名	0名
合計	6名	1名	0名	3名	0名	0名

【10】会議及び研修

- 1、天草地域自立支援協議会：居住班
- 2、グループホーム職員会議
4月25日(火)、5月25日(木)、6月23日(金)、7月25日(火)、8月25日(火)、9月25日(月)
10月25日(水)、11月24日(金)、12月25日(月)、1月25日(木)、2月26日(月)、3月25日(月)
- 3、法人全体会議
4月3日(月)、5月1日(月)、6月1日(木)、7月3日(月)、8月1日(火)、9月1日(金)
10月2日(月)、11月1日(水)、12月1日(金)、1月4日(木)、2月1日(木)、3月1日(金)
- 4、利用者会議：随時

【11】令和5年度の振り返り

令和5年度は「日常生活上の相談に対応し、感染予防対策を行いながら安定した生活を過ごして頂く」と目標を置き、支援を行ってきました。コロナ禍も3年経ち、感染予防の習慣化により感染者を出すことなく一年過ごせました。利用者においては、入居したが生活に馴染めず退所となるケースが2件みられた。もっと新規の利用者への生活面や心の配慮を十分に行う事が大事であったと思う。また、身体的な病気で総合病院へ入院となった入居者は、新たな病気が見つかり、治療やリハビリのため長期化している。他の入居者も年齢的に新しい病気が見つかる可能性もあるので、日中活動のサービスと連携し、体調の管理や変化への対応を行っていききたいと思う。